

舟車輪

平成18年 1月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団
TEL 0766-82-5181
FAX 0766-82-5197

第98号

新年、あけましておめでとうございます。皆様にとって良い年となりますよう願っております。同時に、今年こそ、総帆展帆を10回とも実施できますように財団一同、願っております。今年もよろしくお願いたします。

10・11・12月の行事結果

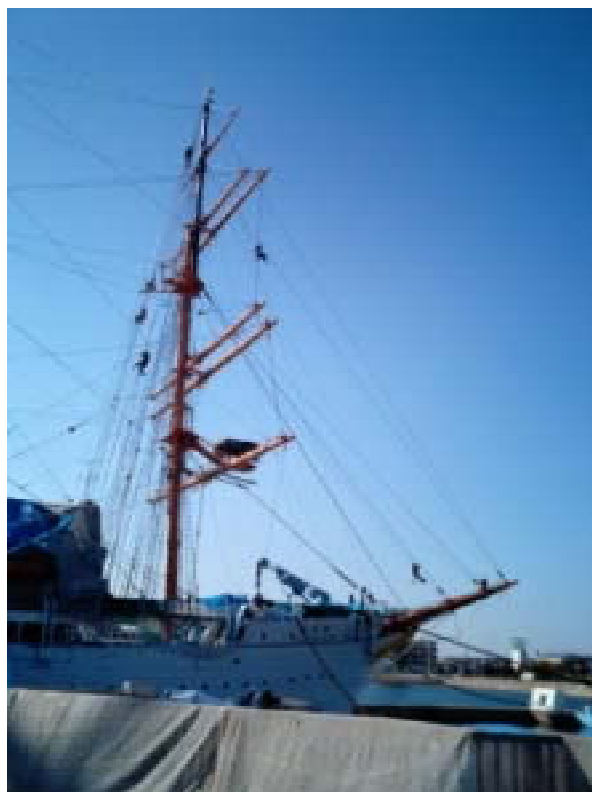
10月23日総帆展帆 について

福井北方に低気圧があり、天気予報では、終日、降水確率が90%でしたが、上空には朝から青空が広がり、小雨がありました。無事に実施することができました。11月3日は雨天のため中止となり、17年度最後の総帆展帆となりました。

天候：晴 一時 小雨 参加人数 62名
展帆状態：ポートタック スクエアヤス

保存工事について

昨年11月にマスト・ヤード塗装及び、第一教室・士官サロン・防災センターのカーペット張替工事並びに、外板板厚測定、フライングブリッジ床面防水工事を実施しました。今年は、記録的な大雪に見舞われていますが、寒くなる前に可能な限りの保存工事ができたことに安堵しております。綺麗になったマスト・ヤード、船内各所のカーペットなど、一見の価値あります。



海王丸ボランティアの集いについて



12月3日(土)に海王丸ボランティアの集いを実施しました。当日は、初代射水市長に就任された分家副会長にもご出席いた

だき、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。また、今年度の精勤賞受賞式も執り行いました。総帆展帆に8割以上ご参加いただいた受賞者は以下の方々です。ありがとうございました。

展帆ボランティア精勤賞受賞者（47名）

荒木孝文	磯辺富次	伊東可志郎
大川雅永	澤井久義	伊玉文次
大土居正輝	西部銃郎	高澤昭二
明神外二	森田恵子	若林邦男
高田正二	田口松男	山口信子
高金森進	水口勝務	近藤健二
尾崎孝博	武田信幸	河原秀夫
中山博作	池崎勝巳	津田賢二
若林良一	今井雄治	高島聖子
吉田勇一	高木昌彦	白井孝雄
立野節子	飯沼邦子	田中万喜子
塚田雅士	野村寿男	中松芳澄
小泉理恵	樋爪昭時	本保澄雄
和田耕一	長久昇	釣師悦博
奥守潔	山形博華	
	須賀清華	

甲板ボランティア精勤賞受賞者（2名）

和田耕一 長久昇
(敬称略)

餅つき・鏡開き大会について



平成17年12月23日(祝)に海王丸船上にて餅つき大会を実施しました。当日は、吹雪の為、客足は少なかつたものの、餅米80kgをついて鏡餅、きな粉餅、あんこ餅などを作製して来場者に振る舞いました。

平成18年1月9日(祝)には、久々の青空の下、鏡開き大会を行い、海王丸の安全、ボランティアの発展、見学者の健康を祈願しました。約200名の来場者を迎え、大いに賑わいました。事前に、あんこ作製などにご協力いただきましたボランティアの方々に深く感謝いたします。

ありがとうございました。



2・3月の行事予定

ボランティア宿泊研修について

2月25日(土)・26日(日)にボランティア宿泊研修を実施します。ご参加希望は、同封のハガキ、Eメール、電話にて御連絡ください。

日 時: 平成18年2月25日(土) 13:00 ~ 26日(日) 11:30まで

集 合: 海王丸第一教室

参加費: 1210円(食事代・税込み)

績積積析

資 格: 海王丸ボランティア登録者
健康状態に問題の無い方
家族の了承を得た方

内 容: 安全に関する講習
展帆・操帆に関する説明
海王丸整備作業
親睦会

親睦会の参加は自由です。ご参加される方は、持ち寄りをお願いします。食事を摂られない方の飛び入りも歓迎

申込締切: 平成18年2月17日(金)

ペンディングセイルについて

ペンディングセイルの予定は、下記の通りです。ご協力頂ける方は、同封のハガキにて御連絡をお願いします。

日 付：平成18年3月4日(土)
3月5日(日)

集 合：海王丸第一教室

当日の開始時刻は以下のとおり実施します。

08:30 ミーティング(海王丸第一教室)

09:00 作業開始

16:00 作業終了(昼食;財団で用意)

お知らせ

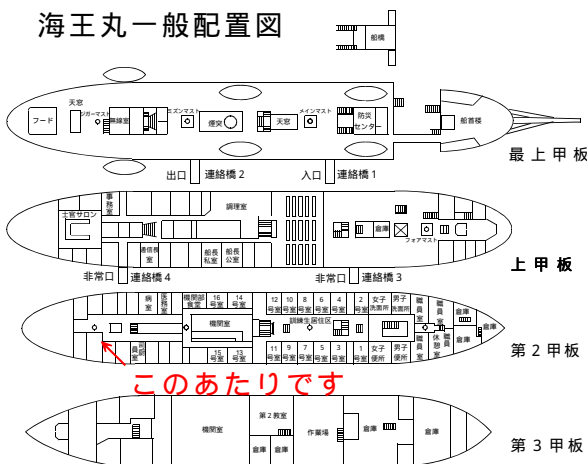
海王丸ボランティアの集いについて

毎年、2回実施していたボランティアの集いですが、年々厳しくなっていく財政により、来年度から冬期に1回のみ実施することとなりました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ボランティア用ロッカーの設置について

海王丸の船内、第2甲板最後部、旧乗組員居住区内(非公開区域)にボランティア用のロッカーを設置しました。(下図参照)

海王丸一般配置図



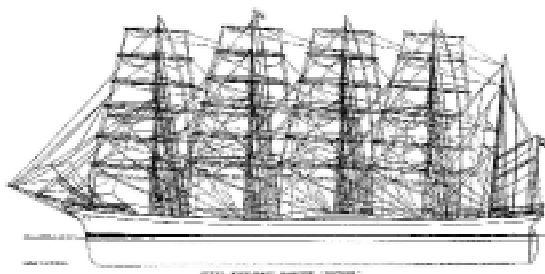
施錠できる27個のロッカーを設置し、周囲の旧乗組員居室を整備して更衣室として使用できるようにしました。甲板ボランティアで乗船した時や、研修室が使えないイベントのときにご活用ください。詳しい使用法は船内に掲示しますが、安全かつ使いやすい方法を模索していきます。



「SPLICING THE MAIN-BRACE」

今号は前回の説明に続き、帆装の変化について説明していきましょう。

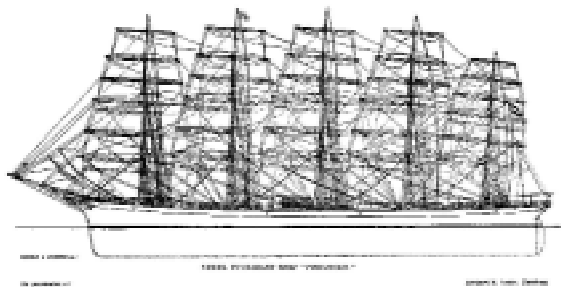
帆船の歴史を調べていくと大舞台で一番登場するのが3本マストと4本マストの帆船です。木造の4本マストというのは見つけることができませんでした。かつての造船技術においては全長50mもない3本マストの木造船が限界だったようです。その後鉄船、鋼船ができるようになると帆船は巨大化していきます。Ship(シップ)やBark(Barque、バーク)に代表される横帆船や、Schooner(スクーナー)に代表される縦帆船、それぞれの良いところを取って発展してきたBarkentine(Barquentine、バーケンティン)など、どれもマストの本数を増やしたり、マストを高くしてより多くの帆を張れるようにし、高速化、大量輸送化を計りました。しかし、それにも限界があります。海王丸に近い形の2つを紹介します。



この図は海王丸と同じバーク型の鋼製帆船Potosi(ポトシ)です。1895年ドイツで建造され、第1次世界大戦を経験し、終戦後フランスに渡りました。船名をFlora(フロラ)に変えた後、1925年に火災により焼失しました。

総トン数4,026トン、全長111.6m、全幅15.1m、キールからメインマ

ストの高さ64.6mです。海王丸よりも一回りも二回りも大きい船です。海王丸の帆の数は29枚。過去の最大でも35枚ですが、Potosiは43枚の帆があったようです。一番大きなヤードの長さは29.3mもあり、この船を操作するのにどれだけ大変だったかと海王丸を見ながら想像できません。海王丸のように大きなスパンカーは操作に難しい時があったため、この図では分ににくいですが、スパンカーを上下2枚に分けてます。海王丸2世と同様です。



Potosiから7年後の1902年、同じ造船所で鋼製5本マストシップ型が建造されました。Preussen(プロイセン)です。船体はもちろん、マストやヤードも全て鋼製です。総トン数5,081トン、全長124.3m、全幅16.3m、キールからのメインマストの高さ67.9m、平均喫水は8.2mなのでマストの頂上からは標高60mの景色が見渡せたわけです。帆の数は47枚で帆面積は4,645.1㎡、海王丸が2,397.2㎡だったので、ほぼ2倍になります。これを支えるステーやシュラウドなど静索[せいさく]は全部で約10,800mにもなりました。海王丸は、わずか3,582mしかありません。静索がこの差なので動索[どうさく]はさらにすごいことになります。上の図にはブレースと他の主たるギアが描かれていますが、すでに複雑でわかりません。海王丸のギア(動索)を全て覚えている人はその大変さが想像できるかもしれませんが、海王丸のギアに加えメインマスト2本分加わっているのです。後ろ2本のマストの周りにはこれらが交錯してて非常な複雑さを出しています。タッキングする時はどれだけのロープを引いていたのか、想像するだけで汗が出てきそうです。

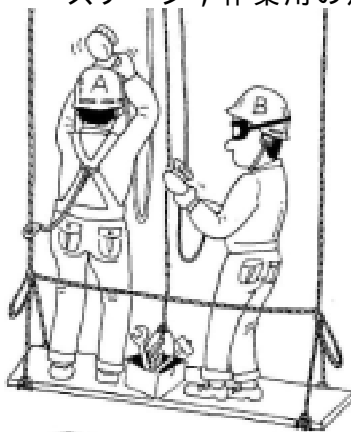
マストの名称ですが、前からフォアマスト、メインマスト、ミドルマスト、ミズンマスト、ジガーマストと呼ぶようです。他の帆装形式で4本マストだと、海王丸で使われている呼び方が大半ですが、5本マストになると、一番後ろのマストがスパンカーマスト(Spanker Mast)になったり、ドライバーマスト(Driver Mast)と呼ばれたり多種多様です。

危険予知トレーニングvol.15

前回97号vol.14の答え

《状況》

ステージに乗り、高所で錆打ち作業中。
ステージ；作業用の足場板のこと

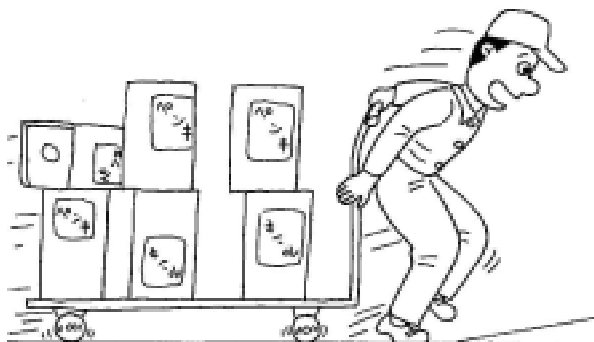


1. ステージが揺られて、Bは墜落する。
2. 缶からはみ出した工具類が落下して、下にいる人に当たりケガをさせる。
3. Aは安全ベルトをステージロープにとっけているので、Aが動くと、ステージが揺れてBが墜落する。
4. ステージロープが切れてA、B共に墜落する。



ステージに乗り、高所で錆打ち作業中。

次のイラストにはどんな危険がひそんでいるでしょうか？考えてみましょう。



ベッキ運搬中。

答えは次号で！

(船員災害防止協会刊：商船KYTイラストシート集72より抜粋)

終わりに

一年の計は、元旦にあり。と昔から言われております。先日、新聞でこんな記事を読みました。「日記を元旦から始める人が多いが、三日坊主となってしまう。始めるなら、なんでこんな日に？というふうな日から始めると肩を張らずに長続きするようだ。」一年の計も然り。元旦は、きっかり過ぎず、肩の荷を下ろし、いつでも始めればいいのではないかとのおんぴり構えている今日この頃。のんきなO型です。はてはて。(ごっしー)